

## Abstract

# インヒビターをもつ血友病症例の生活の質 (QoL) は整形外科的所見と関連している

Quality of life is associated to the orthopaedic status in haemophilic patients with inhibitors

L. Scalone, L. G. Mantovani, P. M. Mannucci, A. Gringeri and the COCIS study investigators

インヒビターの発現は、血友病治療における重大合併症の1つであり、出血や身体障害および死亡のリスクを増大させる。インヒビター症例の治療コストについて前方視的に検討した以前の我々の研究 *Cost of Care Inhibitors Study (COCIS)* (2003年) では、インヒビター症例に適用されている最近の治療戦略は高額なコストを要することは確かであるが、満足できる健康関連の生活の質 (HR-QoL) をもたらしことが示されている。今回の研究では、インヒビター症例における HR-QoL の決定因子について検討した。イタリアの血友病センター 11 施設に登録されている成人患者 50 例を対象に臨床的評価を行うとともに、HR-QoL を評価するための2つの包括的質問票 [EuroQoL instrument (EQ-5D) と Short Form-36 (SF-36)] を使用して調査した。調査の結果、出血頻度およびインヒビター力価は、HR-QoL と関連するものではなかった。しかし、これらの症例で

は包括的 HR-QoL (特に、身体関連領域) と整形外科的所見との間に負の相関関係があることが示された。EQ-5D の visual analogue scale (VAS) スコア (包括的 HR-QoL を測定する項目) と SF-36 の身体機能領域および身体的健康サマリースコアは、整形外科的関節スコアとの間に有意な相関が認められ (それぞれ  $p < 0.001$ ,  $p < 0.01$ )、これらの相関は患者の年齢で調整してもなお有意であった。また、SF-36 で得られたこれらの所見は、EQ-5D でも確認された。COCIS 研究では、インヒビター症例の HR-QoL は整形外科的所見によって損なわれる一方で、他の因子は包括的 HR-QoL に影響を及ぼさないことが示された。今回の結果は、この合併症に対して現在行われている治療が概ね満足のものであることを示唆しているが、同時に、インヒビター発現症例においては整形外科的所見に特別な注意を払わなければならないことも示している。